

# 企業庁経営戦略目標指標 令和4年度取組実績

基本理念：信頼の水で、地域の未来に貢献します

評価 ◎：目標（以上）を達成した。○：目標には達していないが、取組みが進んだ。  
 ▲：目標と実績が乖離している。－：精査中  
 優位性：↑高いほど望ましい。↓低いほど望ましい

取組項目	指標	令和4年度		優位性※	取組の状況、課題	評価	今後の対応 (▲の指標)	
		目標値	実績					
安全：安全で良質な水を供給します								
水質管理の強化	用水	水質基準適合率	100%	100%	↑	・水質検査結果を浄水処理に適正に反映した。	◎	
水質管理の強化	用水	かび臭物質濃度水質基準比率年間平均値	75%	96%	↑	・適切な臭気対策（活性炭注入等）を行い、臭気の低減に取り組んだ。	◎	
安全で安定した水の供給	用水	苦情発生件数	0件	84件	↓	・原水にカビ臭が発生し、活性炭注入により水質基準（10ng/l）を下回るよう適正処理したが、浄水処理後わずかに残留（最大5ng/l）した。処理能力に限界があるため、ホームページでの周知に努める。	▲	ホームページでの公開の仕方を含め、効果的な情報発信の方法について検討する。
安全で安定した水の供給	工水	苦情発生件数	0件	4件	↓	・水質に関し提供した情報が十分でなかったため、かえって工業用水の受水企業に不安を与える結果となった。	▲	受水企業に対し情報提供を行う場合には、受水企業が必要とする情報を整理し迅速に提供する。
強靱：信頼を支える強靱なライフラインを構築します								
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	用水	浄水施設の耐震対策の進捗	1箇所	0箇所	↑	・吉川新浄水場建設工事を実施した（進捗率9割）。 ・馬淵浄水場と水口浄水場において耐震補強設計業務を完了した。	○	
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	用水	ポンプ場の耐震対策の進捗	6箇所	6箇所	↑	・南津田導水ポンプ場と朝国導水ポンプ場において耐震補強詳細設計を実施した。	○	
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	用水	管路の耐震化率（耐震適合率）	41.1% (54.2%)	40.7% (53.8%)	↑	・日野ライン、蒲生日野ライン、八日市蒲生ライン、中主ラインの一部工区において管路更新工事を実施した。 ・蒲生日野ラインおよび長峰ラインの一部工区について、それぞれ管路更新詳細設計、基本設計を発注した。	○	
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	工水	管路の耐震化率（耐震適合率）	15.6% (18.6%)	15.2% (18.2%)	↑	・湖南団地ライン管路更新工事を実施した。	○	
施設の浸水対策	用水	浸水対策の進捗	6箇所	4箇所	↑	・吉川浄水場、石部増圧ポンプ場、水口浄水場、朝国共同施設の工事が完了した。 ・馬淵浄水場、南津田導水ポンプ場の工事に着手した（令和5年度工事完了予定）。	○	
施設の浸水対策	工水	浸水対策の進捗	2箇所	0箇所	↑	・彦根浄水場および菩提寺加圧ポンプ場について、国庫補助金を活用するため、令和5年度の工事に変更し、早期発注に向けて準備を進めている（令和5年度工事完了予定）。	○	

## 企業庁経営戦略目標指標 令和4年度取組実績

基本理念：信頼の水で、地域の未来に貢献します

評価 ◎：目標（以上）を達成した。○：目標には達していないが、取組みが進んだ。  
 ▲：目標と実績が乖離している。－：精査中  
 優位性：↑高いほど望ましい。↓低いほど望ましい

取組項目	指標		令和4年度		優位性 ※	取組の状況、課題	評価	今後の対応 (▲の指標)
			目標値	実績				
持続：社会の変化に適応した持続可能な経営を推進します								
健全経営の維持	用水	経常収支比率	100%以上	108.1%	↑	4,402,568千円 / 4,071,924千円=108.1%	◎	
健全経営の維持	用水	給水収益に対する内部留保資金の割合	100%以上	166.4%	↑	6,886,894千円 / 4,137,531千円=166.4%	◎	
健全経営の維持	工水	経常収支比率	100%以上	107.5%	↑	1,051,674千円 / 977,844千円=107.5%	◎	
健全経営の維持	工水	給水収益に対する内部留保資金の割合	100%以上	517.1%	↑	4,842,851千円 / 936,478千円=517.1%	◎	
地域経済の活性化への貢献	共通	県内産バルブの使用率	100%	100%	↑	・県内で生産されている規格のバルブを使用する工事については、全て県内で生産されたバルブを使用した。	◎	
人材育成と技術継承	共通	若手水道技術職員の資格取得件数	4件	4.3件	↑	・企業庁研修実施3箇年計画および資格取得3箇年計画の対象者に対して研修・資格取得を促し、概ね予定通り取得できた。	◎	
環境に配慮した取り組み	共通	過去5年間のエネルギー使用原単位変化率対前年比	-1%	-0.6%	↓	・過去5年間において、大規模ポンプなどの更新工事がなく、水融通の適正化など運用面での改善を試みたが、1%以上の改善には至らなかった。	○	
環境に配慮した取り組み	共通	浄水発生土の有効利用率	100%	100%	↑	・全て建設リサイクル土として有効利用した。	◎	
地域、社会の理解促進	共通	水道事業見学者の理解度	90%	100%	↑	・条件付きで浄水場見学を再開し、145人の受け入れを行った。 ・見学終了後、理解できたか確認したところ全員が理解したと回答された。	◎	